通常総会と記念講演会開催

6議案を付議、すべて承認・可決

東京代協

東京損害保険代理業協会（東京代協）は5月15日、損保会館（東京都千代田区）で2019年度通常総会と記念講演会を開催した。

磯会長

村上氏

磯利二会長は挨拶の中で、顧客本位の業務運営の対応を含めた実行策やPDCAサイクルの構築が急務だと述べ、代理店の本質が見極められる時代になったと強調した。

総会では6つの議案が審議され、全て承認された。

総会終了後は、株式会社村上憲郎事務所代表取締役の村上憲郎氏による記念講演「IoT、AIが変える近未来」が開催された。

開催に先立ち挨拶した磯会長は2018年度を振り返り、ことし2月の創立75周年感謝の会が盛大に催されたことに感謝の意を表すと共に、東京代協の存在価値と認知向上に重点を置いて取り組んできたと報告した。

一方、今後については、景気低迷や異常気象による自然災害の増加、人口減少など保険業界も厳しい状況になるとの見解を示した。その上で、改正保険業法の施行により顧客本位の業務運営の実行策、PDCAサイクルの構築など代理店は研さんしなければならず、その本質が見極められる段階に入ったと注意を促した。

総会は、2018年度の事業概況報告、2019年度の事業計画・収支予算など6件を付議、いずれも賛成多数で可決した。また、組織委員会や社会貢献委員会など各委員会が活動報告をし、引き続き協力を求めた。

総会後の記念講演は、「IoT、AIが変える近未来―グローバル時代を生き抜くための原理原則―」をテーマに開催された。講師を務めた村上氏は、Google米国本社副社長兼Google Japan代表取締役、名誉会長として活躍し、現在は多くの大学や研究所に在籍、ブイキューブ社外取締役などを務める。

同氏はスマートフォンなどのモバイルインターネットからスマートウォッチ、ウエアラブル、インプランタブルへとインターネット環境の進展について分かりやすく説明。2018年末時点でIoTデバイスは80億台を数えるとのデータを示し、近いうちにインターネットにつながらないモノは少数になるとの見解を示した。

また、自動車産業の変貌や運輸・物流、建築業界の自動化などを紹介し、雇用の影響にも言及した。同氏は、現在、人類史の大きな転換点のスタート位置にあるとSociety5・0を説明した上で、「みなさんは今の業務をしっかり遂行していくことが重要だが、超スマート社会の本当の始まりだと心得て生き抜いてほしい」と呼び掛けた。